

● 学生の海外渡航時の感染症対策について

1 渡航する前に

日本国内でも、麻しん（はしか）、風しん、結核等の感染症の流行が取り沙汰されていますが、海外では、国内以上に多くの種類の感染症がまん延しています。これらの感染症にかからないためには、予防接種を行うことが非常に重要です。

海外留学の場合、アメリカの大学では入学に際して決められた予防接種を済ませていることが求められます。アメリカ以外の国では、予防接種を必須とする国は多くはありませんが、東南アジア、アフリカ、中南米等へ渡航する場合には、それぞれの国で流行している感染症を予防する目的で、予防接種をしておくことが推奨されます。

予防接種は、感染症の種類によって接種できる医療機関が限られます。また、抗体がつくまでにある程度の期間が必要であること、加えて複数回接種する必要があるものもあるため、十分な期間の余裕をもって、必要な予防接種を受けることが必要です。

以下を必ず参照の上、正しく予防接種を受けてください。

1) 「海外留学健康の手引き」

: 予防接種の一般的な知識・注意事項や、地域ごとに必須・推奨される予防接種の種類、またアメリカ留学時に求められる予防接種等について紹介しています。

https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/health/common/docs/common/handbook_studyingabroad.pdf

2) 厚生労働省検疫所 FORTH ホームページ「お役立ち情報」

: 感染症についての情報のほか、海外渡航時の健康管理について情報提供されています。

<https://www.forth.go.jp/useful/index.html>

3) 厚生労働省検疫所 FORTH ホームページ「予防接種実施機関検索」

: 予防接種実施機関を検索することができます。

<https://www.forth.go.jp/moreinfo/vaccination.html>

2 帰国したら

結核まん延国から帰国した学生には、定期健康診断時の胸部X線写真撮影を強く推奨します。

【参考】[学生健康診断方針](#)

3 留学担当者へのお願い

必要な予防接種が渡航前に終了できるよう、できるだけ出発3か月前までに留学担当者から学生に対しオリエンテーションを行っていただけるよう、お願いします。